

今年度の「ねんりんピック」は、岐阜県の各市町村にて10月18日から21日の間で開催されました。「ウォークラリー部門」の千葉市代表として丹羽・中島・佐藤(成)・達(育)・能間の5名でチームを組み参加しました。大会前日の17日に千葉市より各競技に参加する選手63名が飛騨高山グランドホテルに集まり、宴会の席で、選手間の顔合わせやチーム紹介が行われ、大いに盛り上がりました。

18日は、朝6時に朝食後の6時40分にホテルをバスで出発、岐阜メモリアルセンター・長良川競技場に9時頃着。総合開会式が行われました。選手は団体ごとにグラウンドで整列し、ねんりんピックファイヤーの点火式、選手宣誓、国歌斉唱の後、来賓挨拶等をいただきました。式後のアトラクションでは、主催者の岐阜県の人たち(2,000人ぐらいの参加)による「郡上おどり」などを見物しました。早めに終わったので、午後4時前に美濃市のホテルに到着。一旦部屋に入った後、送迎バスで重要伝統的建造物群保存地区の江戸時代から続く「うだつの上がる町並み」を見物しました。“うだつ”とは、屋根の両端に作られた火事の際の類焼を防ぐ防火壁のことですが、「うだつが上がらない」とは、出世できない人を揶揄する言葉としても使われています。また、この街は美濃和紙の発祥の地であり、紙のお店が沢山ありました。

19日は、ウォークラリー交流大会参加のため、8時頃迎えのバスで会場へ。9時半より開会式が始まる。アトラクション(美濃和紙太鼓)、大会会長挨拶などが行われた後、競技が10時半よりスタート。我がチームは10時34分にスタートした。コマ図を見ながら、丹羽リーダーを先頭に、5人で問題を解きながら進行し、12時15分頃ゴールしました。2時45分から表彰式が行われ、「ちば歩こう会チーム」は8位に入賞、私は昨年に続き高齢者賞を頂きました。



20日は、自由行動の日で、高山本線・鵜沼駅より電車に乗り、養老の滝を見物。午後は大垣市内の大垣城、芭蕉の「奥の細道むすびの地記念館」などを見物し、岐阜駅前のホテルに投宿。

21日は、斎藤道三の居城・岐阜城がある金華山へ。ロープウェーで山頂へ、眺めは素晴らしかった。岐阜駅からは選手団全員がバスで名古屋駅へ。名古屋駅より新幹線に乗り無事に帰宅できた。お陰様で5日間楽しく過ごすことが出来ました。お世話になった関係者の皆様にお礼を申し上げます。有難うございました。